

みどり通信 第52号

発行 北海道立緑ヶ丘病院広報委員会

河東郡音更町緑が丘1番地

電話 0155-42-3377

この2年の勤務を

振り返って

(事務長 田中研伸)



平成30年4月に約30年ぶりの道立病院勤務を命ぜられてから、3年目を迎えました。これまでの2年間の勤務を、病棟再編と電子カルテ導入という当院にとって大きな改革となった2点を中心に振り返ってみたいと思います。

○病棟再編

当院は、国の精神保健福祉施策の方針のもと、入院患者の地域移行や在宅支援を積極的に進めてきた結果、多くの患者が退院し、地域で暮らせるようになりました。

その一方で入院患者数は減少傾向にあり、それにあわせて段階的に病床を削減してきましたが、長期入院患者の退院促進等による病床利用率の右肩下がりが続いており、収支改善や運営効率化に向けて、さらなるダウンサイジングが必要な状況でした。

着任する前年度(平成29年度)、当院から道立病院局本庁に3つの病棟の1つを削減する提案を行っていました。本庁からは、地域の意見を伺いニーズの把握を行ったうえで、今後の病院機能のあり方を検討すべきとの意見が示されていました。

1年目(平成30年度)の取組、着任後1年目は、本庁と連携を図りながら、地域の行政や医療等の関係機関の皆様からご意見を伺いました。

また、先進地の視察(岡山県、千葉県)や道立病院事業推進委員会の委員の皆様からいただいたご意見等を踏まえながら、再編後の収支見込みを含め

病院のあり方について検討を重ねました。

その結果、年度末には、病床規模の適正化を図りつつ、引き続き精神科医療の拠点として役割を果たしていくこと等を盛り込んだ「今後の緑ヶ丘病院の取組について」(概要は「みどり通信51号」参照)を取りまとめることができました。

この作業と並行して、病棟改修に必要な工事費の予算要求や組織機構について本庁と協議を重ね、予算を確保していただくとともに、職員定数は病棟再編等に伴い約1割削減されることとなりました。

2年目は、人員確保の関係上、年度当初から病棟改修工事が完了するまでの間、削減された職員数で3病棟体制を維持することになったため、病棟をはじめ外来や地域連携室も含め職員に大きな負担をかけたがらの病院運営となりました。

7月には、再編後の運用病床数を60床削減した77床とすることで最終決定し、9月には、意見を伺った関係機関に対して、院長、総看護師長とともに説明に伺い、ご理解をいただきました。

当初、10月末に完了を予定していた改修工事が、業界の人手不足等により入札が不調となり、再入札を余儀なくされ、最終的に工事完了が年明けになってしまいました。

暫定的な職員配置の期間が長期化することなり、その負担軽減を図るため、工事中の病棟から休止予定の病棟に一旦患者を転棟し、10月から2病棟体制に移行することとしました。翌年1月に工事が完了し、2月には改修後の病棟に再度患者を転棟し、転棟後の病棟を休止して一連の病棟再

編が完了しました。

○電子カルテ導入

道立病院の中で唯一電子カルテが未整備であった当院にとって、その導入は業務の効率化や医師確保等の観点からも大きな懸案事項でした。

既に院内では、委員会を立ち上げて導入の検討が行われていましたが、億単位の予算確保には高いハードルがありました。

着任後は、老朽化している施設の改築という課題を先送りしてでも導入を急ぐべきと考え、本庁への要望を重ね、財政当局に理解を得るため資料作成などに奔走した結果、平成31度の予算に導入経費を計上していただくことができました。

昨年度当初から業者の選定や契約に向けた作業が始まり、契約締結後のシステム構築を経て、年度の後半は職員が操作訓練を

重ねました。年明けには数回にわたりハールを実施し、万全の体制でシステム稼働できるよう取り組みました。本年3月から本格稼働が開始し、現在は概ね順調に運用が行われてきています。

2つの大きな改革が成し遂げられたのは、職員一人ひとりの尽力と連携の賜物であり、心より感謝申し上げますとともに、こうした取組により、当院の運営効率化が今後より一層図られることを期待しています。

最後に、病棟再編にご協力いただきました患者及び地域の皆様やご支援いただきました本庁の皆様に対し、この場を借りてお礼申し上げます。

院内感染防止のため ご協力をお願いします

新型コロナウイルスやインフルエンザの感染を防ぐため、**次の状態の場合、必ず、来院前に連絡をお願いします。**

来院前にご連絡ください

- 熱がある場合
- 呼吸器症状・風邪症状がある場合
- 感染症と診断されている、または、身近にインフルエンザ等の感染症と診断された方がいる場合

【連絡先】 0155-42-3377 「成人外来」もしくは「児童外来」

連絡ができなかったときには

事前に連絡ができなかった場合や、来院途中で上記の状態になった場合は、病院に入る前に、携帯電話または当院の正面玄関に設置しているインターフォンで連絡をしてください。



よろしくお願いします

前回のお知らせ以降、新たに当院で働くことになった職員です。
今後ともよろしくお願いいたします。

【転入】

副院長兼総看護師長	加藤 美喜子 (H31.4.1)
地域連携室副室長兼相談支援科長	山中 克哉 (")
作業療法士	加瀬 あゆみ (")
主幹兼地域連携室副室長	平中 昭弘 (R1. 6. 1)
副院長兼総看護師長	菅原 弘光 (R2. 4. 1)
総務課長	山本 研一 (")
主査 (医事)	辻 加寿彦 (")
放射線科長	寺本 進二 (")

【採用】

専門主任	白石 法子 (R1. 9.1)
理療専門員	石崎 大輔 (")
医長	伊藤 恵理子 (R2. 4.1)
指導主任看護師	白井 純子 (")
指導主任看護師	藤原 亜里 (")
指導主任看護師	武田 珠里 (R2. 5.1)
指導主任精神保健福祉士	阿部 哲実 (")

受付方法が変更になりました

電子カルテシステムの導入にともない、外来の受付方法が変更になりました。
ご不明の点がありましたら、気兼ねなく職員にお尋ねください。

- 1 窓口で受付後、お名前を呼び、番号票をお渡しします。
診察券番号でのお呼出しも可能です。ご相談ください。
- 2 順番が来ましたら、モニター画面で番号を表示し、患者様をお呼びしますので、診察室にお入りください。
- 3 診察後、受付票が入ったファイルをお渡しします。
検査などがありましたら、そちらまでお持ちください。
- 4 すべての診察や検査が終わりましたら、受付票が入ったファイルを会計窓口にお渡しください。
- 5 会計が終わりましたら、会計表示モニターに番号を表示しますので、会計窓口で料金をお支払いください。



受診のご予約について

当院の受診は予約制となっております。
受診の際は、電話でご予約をお願いいたします。

連絡先 **0155-42-3377 (代表)**

新規の患者さま **9:00 ~ 17:00**

再診・予約時間変更 **15:00 ~ 17:00**

面会制限を実施しています

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、当院では、2020年2月27日から当面の間、ご面会を原則禁止としています。

入院患者さまやご家族の方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

お世話になりました

当院から転出・退職した職員をお知らせいたします。

在任中は患者さまをはじめ、関係者の皆様には大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

【退職】

看護師長	西嶋 智子 (R1. 8.31)
医長	白濱 武人 (R1. 9.30)
主任看護師	太田 晶子 (R1.12.31)
医長	山本 浩貴 (R2. 3.31)
総務課長	小川 直樹 (")
看護師長	作間 真一 (")
指導主任看護師	宮本 美和子 (")
指導主任看護師	吉本 由美子 (")
主任看護師	松田 麻奈美 (")
主任准看護師	高嶋 京子 (")
主任	佐々木 敏 (")
主任保健師	川島 真裕美 (")

【転出】

主査 (医事)	片岡 進一 (R1. 6. 1)
副総看護師長兼 医療安全推進室副室長	石川 恵子 (R2. 4. 1)
会計係長	藤田 美穂 (")
放射線科長	村井 浩滋 (")
専門主任	竹島 悟史 (")
主任	赤木 恵美 (")
理療専門員	佐藤 和正 (")

退職・転出された方々のご健康と
ますますのご活躍をお祈り申し上げます。(事務局)

